

## 4.6 企業市民活動

### 4.6.1 基本的な考え方

富士フィルムグループでは、企業が社会に対して果たすべき責任として、社会の持続可能な発展に貢献し、良き企業市民として社会とともに歩み、社会の要請や期待に誠実に応えることを掲げています。2008年に社会貢献方針を定め、活動の対象として、「学術・教育」「文化・芸術・スポーツ」「健康」「自然環境保全」の分野を中心とし、地域社会、行政機関、NGO・NPO等との協働・連携、そして従業員の自発的参加による貢献を大切に活動しています。

#### 富士フィルムグループ社会貢献方針

富士フィルムグループは、企業市民として社会とともに歩み、社会の要請や期待に誠実に応える社会貢献を目指します。この方針を実践するため、次の活動指針を定めます。

##### 1. 活動の主要分野

活動の対象として「学術・教育」、「文化・芸術・スポーツ」、「健康」、「自然環境」の分野を中心に取り組みます。

##### 2. 活動において大切にすること

###### 1. 各種ステークホルダーとの連携や協働

地域社会、行政機関、NGO・NPO等との双方向のコミュニケーションやパートナーシップを大切にします。

###### 2. 従業員のボランティア活動の積極的支援

従業員の自発的参加による地域との共生、社会への貢献を大切にし、それらの活動を支援します。

###### 3. グループの強みの活用

富士フィルムグループの製品・サービス・技術・ノウハウも積極的に活用します。

2008年4月制定、2019年4月改定

### 4.6.2 事業活動を通じた社会貢献の主な事例

FF:富士フィルム FX:富士ゼロックス

SVP2030	社会貢献のテーマ	SDGs	事業への関連	活動内容	社会/環境面の成果
健康	医療環境の向上、予防啓発活動への貢献		ヘルスケア&マテリアルズ・ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>ザンビア共和国でヘルスケアの質向上 (FF)</li> <li>日本式医療の国際展開 (FF)</li> <li>感染症の早期発見の取り組み (FF)</li> <li>乳がん撲滅キャンペーン (FF) 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新興国での医療プロジェクトへの参画による医療環境の改善</li> <li>医療機器の提供と技術指導</li> </ul>
生活	写真・フィルム・プリント技術を生かした文化・芸術・教育・災害復興への貢献	 	イメージング・ソリューション ドキュメント・ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>アナログ資産のアーカイブ事業 (FF)</li> <li>伝統文書の複製 (FX)</li> <li>宍道市、遠野市、南足柄市などでのみらい創り活動 (FX)</li> <li>フォトルネサンス運動 (FF)</li> <li>死別を体験した子供たちへの写真プロジェクト (FF)</li> <li>写真救済プロジェクト (FF) 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域での多様なパートナーの連携促進</li> <li>交流人口の増加</li> <li>傷ついた子供たちへの元気づけ</li> </ul>
健康・その他	次世代や障がい者の教育課題への貢献	 	ドキュメント・ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>新興国における教材提供プロジェクト (FX)</li> <li>弱視児童のための拡大教科書製作支援 (FX)</li> <li>KID'S ISO (FX)</li> <li>貧困地域の子供たちに本や勉強道具を提供するための寄付活動 (FF)</li> <li>希少・難治性疾患の子供たちへの写真イベント (FF)</li> <li>写真を通じて子供たちの心をサポート (FF)</li> <li>従業員への社会貢献活動の仕組みの提供: 端数倶楽部 (FX) 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新興国、貧困地域の子供たちの知識レベル向上と元気づけ</li> <li>地域社会に貢献する人材づくり</li> </ul>

### 4.6.3 継続的に実施している主な社会貢献活動

本業を通じた社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 写真救済プロジェクト(富士フィルム)</li> <li>● 文化財のデジタルアーカイブ化(富士フィルム)</li> <li>● “PHOTO IS”想いをつなぐ。50,000人の写真展(富士フィルム)</li> <li>● アルバムカフェ(富士フィルム)</li> <li>● 伝統文書の複製と活用(富士ゼロックス)</li> <li>● ピンクリボン運動(富士フィルム)</li> </ul>
将来世代の教育支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●● 若者世代への写真教室(富士フィルム)</li> <li>●● 弱視児童向けの拡大教科書製作支援(富士ゼロックス)</li> <li>●● 新興国における教育支援(富士ゼロックス)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 富士ゼロックス株式会社小林基金(富士ゼロックス)</li> <li>● 版画コレクション(富士ゼロックス)</li> <li>● スペシャルオリンピックス(富士ゼロックス)</li> </ul>
環境保全・生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●● 聞き書き甲子園(富士フィルム)</li> <li>●● 「みどりの小道」環境日記(富士フィルム)</li> <li>●● 「Kids' ISO 14000」プログラム(富士ゼロックス)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公益信託 富士フィルムグリーン・ファンド(富士フィルム)</li> <li>● わたしの自然観察路コンクール(富士フィルムグリーン・ファンド 他)</li> <li>● 南阿蘇「地下水保全活動」(富士フィルム九州)</li> <li>● 中国・ベトナム植林ボランティア活動(富士フィルム)</li> <li>● 自然観察指導員講習会(富士ゼロックス:端数倶楽部)</li> </ul>

### 4.6.4 社会への貢献活動の実績(2018年度)

#### (1) 社会貢献活動の支出額

富士フィルムグループの2018年度の分野ごとの支出額

貢献の種類	金額(百万円)
将来世代への教育活動	68
地域社会との調和	220
社会への文化芸術振興(国内)	601
国際社会の文化・社会への配慮	96
NGO・NPOとの協働	34
合計	1,019

※詳細内訳は「5.サステナビリティ会計」参照

## (2) コミュニティ投資への事例

国内	海外
<p>●富士フィルム・グリーンファンド</p> <p>富士フィルム創立50周年を迎えるにあたり、1983年に自然保護を目的として10億円を拠出して設立した。民間企業による公益信託としては日本で最初のもの。毎年、自然保護の活動と研究への資金的な支援と、小中高校生への自然保護啓発活動を行っている。</p>	<p>●土地の復元への貢献</p> <p>現地法人があるオランダ・チルバーグに近いハイステルハイデの農村部に広がる土地は、1993年からオランダの自然保護団体「ナチュールモニュメンテン」によって森林や農地を元の低木地や沼沢地に戻していく活動が行われている。当社は、約10年間継続して10万ユーロ超の経済支援を行い、該当する土地の復元に貢献している。</p>
<p>●端数倶楽部(富士ゼロックス)</p> <p>1991年に設立された当社の従業員によって自主的に運営されているボランティア組織。従業員の自由意志で給料と賞与から端数(100円未満の金額)に口数をプラスし、給与天引きにより拠出している。その拠出金を積み立て、会員が必要と考える「社会福祉」、「文化・教育」、「自然環境保護」、「国際支援」の4分野において、会社が同額(マッチング・ギフト)を上乗せした金額を寄付し、NPOや従業員のボランティア活動を支援している。</p>	<p>●富士ゼロックス株式会社小林基金</p> <p>1977年から日本とアジア・大洋州諸国/地域との学術交流を通じた相互理解と親善促進への貢献を目的に設立した企業内基金。上記の目的を満たす人文・社会科学分野を専攻する博士課程在籍者を対象として、41年間にわたって学術研究助成を実施し、研究助成プログラムにおける助成対象者は延べ1,455人(2018年度末時点)にのぼっている。</p>

## 4.6.5 社会や環境に対するインパクト評価の取り組み

(1) 事業活動を通じた環境(CO<sub>2</sub>、水)対応による「お客様への貢献効果」

「お客様への貢献効果」は、お客様が従来製品から、環境に配慮した新製品に置き換えた際に、お客様の側で抑えられた支出の合計を表しています(例えば、環境に配慮した製品を使うことで、電力や資源のコストを抑えられたり、従来使っていた消耗品などの購入額が抑えられたりする金額を計算したものです)。

単位:百万円

製品	金額		
	2016年度	2017年度	2018年度
1. 高密度磁気記録材料	7,196	7,165	8,414
2. 製版フィルム不使用のPS版	66,267	83,506	96,352
3. 液晶ディスプレイ用フィルム	5,527	4,120	2,790
4. オフィスプリンター	28,601	24,962	16,986
合計	107,591	119,754	124,542